



# 新年の挨拶

天満別院 責任役員

奥林 曉



新年あけましておめでとうござい  
います。

クリミヤ半島をめぐるロシアの  
圧力、対外的に拡大化を続けつつ、  
国内では格差の拡大、人権抑圧、  
経済の低迷に苦しむ中国、米中戦  
争、シリア内戦、日本を取り巻く  
国際情勢、北朝鮮の核開発問題、  
日韓関係、中国大国化への対応等、  
テロや国際紛争の激化に不安を覚  
える。

一方オミクロン株の日本侵入い  
まだ収束が見えない新型感染症の  
蔓延とその対策の影響を受けて仕  
事や生活に不安やストレスなど、  
心身不調を感じる日々。  
今まであたりまえと思っていた  
日常生活が一変、あたりまえ、普

通は、実はあたりまえ普通ではな  
かったという事に気付かされまし  
た。

仏教において根本的な理念を示  
す、三法印（諸行無常・諸法無我・  
涅槃寂靜）「全ての現象は無常で  
あり、全ての物事は自己ならざる  
ものであり、ニルヴァーナは安ら  
ぎである」すでに二千五百年前に  
顕かにされた釈尊の教えを改めて  
味あわせていただいた。

天満別院 門徒会会長

八十島 義郎



新年あけましておめでとうござい  
ます。

旧年中は門徒活動にいろいろと  
ご尽力賜り厚く御礼申し上げます。  
昨年も新型コロナウイルス感染拡大防  
止の三密政策などにより厳しい一  
年となりましたがワクチンの普及

などにより大分沈静化が進んでい  
ます。しかしながら、オミクロン  
株の出現などにより、まだまだ油  
断は禁物です。地球全体がコロナ  
にかき回されている今日、コロナ  
と共存の覚悟が必要ですね。

昨秋、本山での報恩講の初日は  
音楽法要が行われ、団体参拝に参  
加し、11月28日の御満座の時間  
には天満別院では本山のお勤めに  
したがって厳粛に執り行われてい  
ました。最後にご輪番の身を踊らせ  
るような感動した法話をいただき  
参席して良い一日でした。

今年もいろいろな催しがあると  
思いますが、ぜひご参加してい  
ただければ有難いと思います。  
新年を迎えこの一年が清々しい  
一年になりますよう願っていま  
す。



## 年忌法要・月忌参りについて

### ◆なぜ年忌法要が大切なの？

私たちは一人ひとりが数知れぬ  
先祖の命を絆として、今を生きて  
います。亡き人を憶う心に我が命  
の深さをいただくことはとても大  
切なことであります。

真宗は、亡き人を供養するので  
はなく、どこどこまでも亡き人を  
諸仏さまといただき、日頃、生活  
に追われて日暮らしをしている自  
分に、赤信号がともり、年忌法要  
を縁として、今までの生き方、こ  
れからの生き方を阿弥陀仏のみ教  
えに耳を傾け、亡き人の姿を偲び、  
大切なことを見失っていた合掌の  
心を取り戻すところに大切な意味  
があります。

したがって、年忌法要は、生き  
ている私になくてはならぬ仏事  
（法事）であります。コロナ社会  
にあっても、せめて家族、親族が  
集いて親密なる出遇いをなさって  
ほしいと願うばかりです。

## 謹賀新年

### ◆責任役員

奥林 曉  
榎屋 義雄  
谷 康司

### ◆院議会議員

鷓鴣 律  
越浦 龍成  
村上 奈津子  
長江 弘樹  
辻岡 恵  
宇野 善昭  
八十島 義郎  
幸田 晴夫  
傍島 恭子  
小糸 正洋

### 監事

洲崎 善範  
西松 薫

### ◆門徒会

顧問 宇野 善昭  
会長 八十島 義郎  
副会長 幸田 晴夫  
副会長 傍島 恭子

### ◆月忌とは？

月忌は、亡き人の御命日にあ  
たる日を毎月、お内仏さまの前で手  
が合わされる仏事をいいます。最  
近、共働きが当たり前の生活様式  
になりつつありますが、私を生  
み、粉骨碎身のおもいで育ててく  
れた亡き父・母の御命日を大切に  
することは人としての温もりを回  
復することに繋がります。毎月の  
御命日を大事にしてほしいと思  
います。

### ◆申経について

最近、月忌参りがなかなかでき  
ないというところで、別院の晨朝  
（おあさじ）の折に亡き人の御命  
日にあわせて、「申経」をお願い  
する方が増えつつあります。別院  
といたしましても、本来ならばご  
家庭のお内仏に向いてお勤めを  
思っています。月忌参りでき  
ない方には「申経」をお受けして  
います。ご希望の方は別院寺務所  
までご連絡ください。

## 2022年度（令和4年度）の年回表

年回	年回にあたる没年	年回	年回にあたる没年
1周忌	令和3年	(27回忌)	平成8年
3回忌	令和2年	33回忌	平成2年
7回忌	平成28年	(37回忌)	昭和61年
13回忌	平成22年	50回忌	昭和48年
17回忌	平成18年	(70回忌)	昭和28年
(23回忌)	平成12年	100回忌	大正12年
25回忌	平成10年		

※ 23、27、37、70回忌につきましては、地域によってはお勤めされない場合も  
ございます。

※ 年忌法要をお勤めになる際は、少し早めにご連絡いただきますようお願い致します。  
ご相談等は寺務所までご連絡ください。

1月1日(土)～3日(月)  
お墓参りされる皆様へ

◆墓地の開閉時間について

開門時間 6時30分  
閉門時間 17時

◆参られる際には

- マスクの着用。
- 咳エチケットの配慮。
- 三密の徹底。
- 小まめな手洗い・消毒徹底。

◆お供えについて

- お供えものはお供えされた当日にお持ち帰りいただきますようお願い致します。

◆駐車場について

○ 墓所周辺の道路は駐車禁止となっており、特にお正月期間は警察による取り締まりがございます。  
別院講堂前駐車場が満車の場合は、南側の別院境内に駐車いただきますようお願い致します。

新規墓地・  
合祀墓納骨のご案内

現在、別院では真宗の御門徒の墓地使用者を募集しています。



また別院の由緒を敬慕し崇敬護持に協力する門徒、及び信徒の墳墓として合祀墓がございます。  
多くの方々にご利用いただきたく御案内申し上げます。



儀式執行は別院職員が行います。墓地のお求め、納骨等詳しくは寺務所までご連絡ください。

仏前結婚式のご案内

天満別院では仏前結婚式を随時受付しております。

浄土真宗の結婚式は、御本尊の阿弥陀如来の尊前で、誠に深い因縁によって遇う事の出来たお二人が、その一生を共に生きていこうと誓いをたてあう厳粛な儀式です。



寺院関係の皆様だけでなく、ご門徒の方々の挙式も御遠慮なくお申し込みください。ご相談、下見等のお問い合わせは寺務所までご連絡ください。

新生児 初参りしませんか

赤ちゃんを授かったら、仏さまに感謝とご挨拶をしましょう。

初参りとは、古来より勤められてきた、生まれた子どもの初めてのお仏事です。時期などは決まっておられません。

別院では新生児初参りを受け付けています。ぜひご家族お揃いでお参りください。

晨朝(おあさじ)に  
参りましょう

別院では、毎朝7時45分から本堂にてお勤めがあります。

お勤め本は別院で用意していますので、ご活用ください。

また土曜日、日曜日には職員による感話があります。

感話とは職員が日頃感じたことを10分程度でお話させていただくことです。

どなた様でもお参りいただけますので、一日の始まりをぜひ晨朝から始めてみませんか。

皆様のご参詣をお待ちしております。

天満別院院議会議員



鶴鶴 律

「明けましておめでとございます。」「昨年よりのコロナ禍により各寺院におきましては、法要・行事等の中止・縮小を余儀なくされる事態になっておりましたが、第六波の心配は有るものの、今年こそは聞法の機会が増すものご期待しております。

法を聞くに当たり、現代人は結果を重視して、十を聞いて十を知ろうとしますが、こと聞法においては十を聞いて一を知れば、よく聞いた方であり、多くの場合一つも残らないのが普通です。だからこそより多くの法を聞くことが大事であり、その中より一つでも多く心に残る様聞法するのです。多くの漢字には「聞・聴」の二つがあります。聞くとはその背後にある意味や考え方を含んで聞くことであり、「新聞」と言う言葉よ

り想像できると思っています。聴はその音を正確に聴くことであり、「聴診器」と言う言葉より想像できると思います。よって聞法とは法を聴くのではなく、法の背後にある意味・考え方を聞き、我が身と照らし合わせて、我が身の事として聞く事なのです。

ご門徒からよく聞く言葉に「忙しくて時間が合わない」「耳が遠くなって良く聞こえない」「足が悪くて座れない」があります。時間を作るものであって、耳の遠い人にはマイクを用意し、足の悪い人には椅子を準備しております。そういった悩みのある人こそ法話の対象であり、我が身のこととして聞法できる人たちなのです。

『罪障功德の體となる』

こほりとみづのごとくにて  
こほりおほきにみづおほし  
さわりおほきに徳おほし

以上の事を踏まえて、今年こそ聞法の機会が増え、多くの法に出会えさせていたたく事を願って年頭のご挨拶に替えさせていただきます。

合掌

本年もよろしく  
お願い申し上げます

輪番	武宮 信勝
列座兼会計	山元 教悟
列座	出原 大乘
列座	堀河 実誓
書記	小坂 昌子
嘱託	山名 彰英
墓地職員	矢裂 隆司
墓地職員	黒田 直樹

◆別院婦人部

副会長	小糸 正洋
会計	加藤 良三
会計監査	西松 薫
会計監査	上野 雄造

◆教化委員会

部長	傍島 恭子
副部長	林 綾子
副部長	佐藤 紘子
会計	根本 和子

◆墓地委員会

法要部会長	辻澤 孝司
研修部会長	洲崎 善範
広報部会長	松井 聰
青年部会長	間野 淳雄

◆墓地委員会

会長	八十島 義郎
	谷 康司
	幸田 晴夫
	根本 卓
	松垣 吉彦

(敬称略)

仏教讃歌とはどのようなものなのでしょうか？



答え

仏教讃歌とは、歌を通して仏さまの教えを知る仏教音楽のひとつです。仏教に関する素養のある作曲家、作詞家によって、明治から今日に至るまで、盛んに作られ、現在まで300曲以上の仏教讃歌があります。私自身も幼い頃からご法話の前に「真宗宗歌」終わりに「恩徳讃」を門徒さんが楽しく、生き生きと歌っておられる姿が心に残っております。仏さまの歌、人生の歌、嬉しい時や悲しい時、その時々のお気持ちで仏教讃歌に出会い、歌っている時は、みんなの心がひとつになり、元気を貰える

ような気が致します。

仏教讃歌の歌詞には、仏さまの教えが説かれていますので、教えを広く伝えるために、歌詞だけではなく、親しみやすい曲調で作られ、声に出して、読み、歌い、味わい、仏さまのお心に触れることのできる安らぎのひとつです。たくさんさんの仏教讃歌の中でも特に皆様もご存知の「恩徳讃」は親鸞聖人が「正像末和讃」の中で書かれているお言葉に節をつけたものです。

この曲は、真宗門徒にとっては、とても身近であり、自然と体の中に染みついております。阿弥陀如来に真向かい、背筋をのばし、合掌しながら歌っていると、心が落ち着き、教えに遇えた喜びを感じます。

今は、コロナ禍で歌うことがままならぬ状況が続いており、寂しい限りです。早く合唱団「みのり」で声を合わせる日が来るのを心待ちにしております。

(第13組 超願寺村上奈津子)

報告

特別永代経懇志とは

別院が永代に渡ってお念仏のみ教えを伝えていく場所として護持することを目的として、人生を終えていかれた大切な方々の死をご縁として納めていただく特別な懇志です。当院では、毎月12日、春秋の彼岸に本堂で総永代経の読経をしています。特別永代経懇志を納めていただいた方には、御経さまにお会いいただくご案内をしております。一層のご理解とご賛同をお願い致します。

みのりの会について

天満別院合唱団「みのり」の練習日については、コロナ感染対策のため未定であり、決まり次第当別院ホームページ、もしくは機関紙「六字城」にて掲載致します。何卒よろしくお願致します。秋の別院報恩講に、今年こそ音楽法要ができればいいなあと願っています。

告知

修正会(初詣り)

1月1日(土) 3日(月) 8時より  
ご法話 輪番 武宮信勝 (1日のみ)

ご家族揃って初詣りには、別院へお越しください。

ハコロナ感染予防対策にご協力ください

○検温・アルコール消毒。

○マスクの着用。

○咳エチケットの配慮。

○三密の徹底。

○小まめな手洗い・消毒徹底。

※今年も、お屠蘇のおながれは控えさせていただきます。

天満別院 新年会のご案内

天満別院講堂にて左記の通り新年会を開催致します。コロナ感染拡大防止のため例年通りの会食は行わず特別ゲストに落語家の桂坊枝師にお越しいただきます。

参加定数は、70名となりますので、定数になり次第締め切らせていただきます。

記

日時 1月17日(月) 14時~16時

場所 天満別院 同朋会館 講堂

参加人数 70名以内

会費 無料

※未就学児の入場はご遠慮下さい。

参加希望の方はFAXまたはお電話にて1月13日(木)までにお知らせ下さい。

てらこんネットワーク 開催のお知らせ

真宗大谷派・近畿連区坊守・女性住職の有志で、結婚を目的とした出会いの場「てらこん ネットワーク」が左記の通り2年ぶりに開催されます。

現在6組のカップルがご成婚されました。そのことが世話役一同の益々の励みにもなっています。引き続き、独身男性・女性の積極的なご参加をお待ちしています。

詳しく知りたい方は天満別院ホームページ「てらこんネットワーク」の記事をご確認ください。

記

日時 1月22日(土) 13時~17時

場所 天満別院 同朋会館 講堂

第15回 てらこん2022inOSAKA 開催!!  
2022年1月22日(土曜日) 午後3時~5時  
会場 大塚 真宗大谷派天満別院 (〒594-0244) 1階 講堂  
参加費 1,000円 (お茶代別)

法要部会主催 公開講習会開催

去る12月3日(金)に天満別院教化委員会法要部会主催による装束作法(七条)についての公開講習会が行われました。ご講師には大阪教区准堂衆会から2名の方々に来ていただきました。

17名の参加者は先生の講義・実演の後、実際に七条袈裟を着脱され熱心に取り組みました。



准堂衆会による講義と実演の様子

1月 定例法話

定例法話では多彩な講師陣が分かりやすく真宗のみ教えをお話ししていただきます。1月は左記の通り開催致します。

記

日時 1月24日(月) 13時30分

場所 天満別院 本堂

御講師 第7組 長教寺住職 稲垣 洋信師

講題 「すでにこの道あり」

※ 例年、法話終了後には、婦人部の方々によるおぜんざいの接待がございましたが、今年にはコロナウイルス感染防止のため中止とさせていただきます。